

関連産業振興委員会

関連産業振興委員会では委員会全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと 3 専門委員会を置き、経済環境、技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、JIRA 関連産業(モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等)の発展振興のための施策を企画、推進する

JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025 を受けて、関連産業振興委員会としては今後 3 か年に以下の事業活動に注力する。

コロナ禍で活動の制限を受けている最中、実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。

- WEB 利用を中心に委員会活動を通じてタイムリーな話題に着目し、企業が必要とする情報提供し製品開発・活動のヒントになる活動をする。
- JSRT との連携強化により、お互いに線量管理、感染予防の様々な課題に対して産業側としての解決推進を図る。
- AI 等の新たな技術分野に対して、JSRT と連携しながら議論を深める機会を設け、これらの新技術が、関連産業振興委員会企業にとってどのような影響が生ずるか検討する。
- 委員会内の役割分担を明確にし、新規委員募集とともに世代交代も含め委員会活動の活性化を図っていく。

(1) 運営委員会

- ◆ 関連産業振興委員会各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに各専門委員会が抱える課題解決について協議し、基本方針を決定する。
- ◆ カンファレンスパークの活用に向け、WG を発足させる。
 - セミナー開催、シーズ・ニーズマッチング、技術 PR の場を提供
 - セミナー開催にてトライアルを開始する関連産業振興委員会各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに各専門委員会が抱える課題解決について協議し、基本方針を決定する。

(2) 関連産業専門委員会

- ◆ 政策企画会議・各専門委員会からのタイムリーな情報提供
- ◆ 会員の関心のある話題について情報提供
- ◆ 課題の創出政策企画会議・各専門委員会からのタイムリーな情報提供

(3) 学術専門委員会

日本放射線技術学会(JSRT)との連携を主体に事業を推進する。

2023 年度の事業計画としても、これまでの活動を継続し、総会学術大会、秋季学術大会、東京支部大会(春、秋)での共催イベントの企画運営を行う。下記を重点項目として推進する。

- ◆ 日本放射線技術学会(JSRT)との関係強化
 - JSRT 学会での JIRA 発表会、JIRA ワークショップ等の活動を通して、学会メンバーとの関係を深めていき、認知度をさらに上げていく。
 - 医療の質向上のために、AI 等の新たなデジタル技術をいかに活用できるかを JSRT と継続して議論して、医療現場への導入拡大につなげていく。
 - JSRT 学会誌へ JIRA の活動を紹介すべく、JIRA トピックスを引き続き掲載して頂くために、各種アレンジを行う。
 - 新たな取り組みとして、JSRT 東京支部との医工連携活動を推進してきたが、より効果的な活動へ進化させていく。
- ◆ 学会時の JIRA 発表会、JIRA ワークショップの活性化
 - 現地参加と WEB 参加のハイブリッド開催方式に合わせた、議論活性化、プロモーション活性化の方法を探っていく。

(4) 研修・連携専門委員会

主に会員企業に対して、医療関係を中心にした幅広い分野に関しての情報発信を行う。

併せて、会員相互の交流および他団体(技師会、アカデミア、他医療業界、行政など)との連携を図る。

- ◆ ITEM 見学ツアー(毎年4月)。
- ◆ 研修会・講演会の開催(対象:JIRA 会員および JIRA 外部も含む) 年 2 回。